

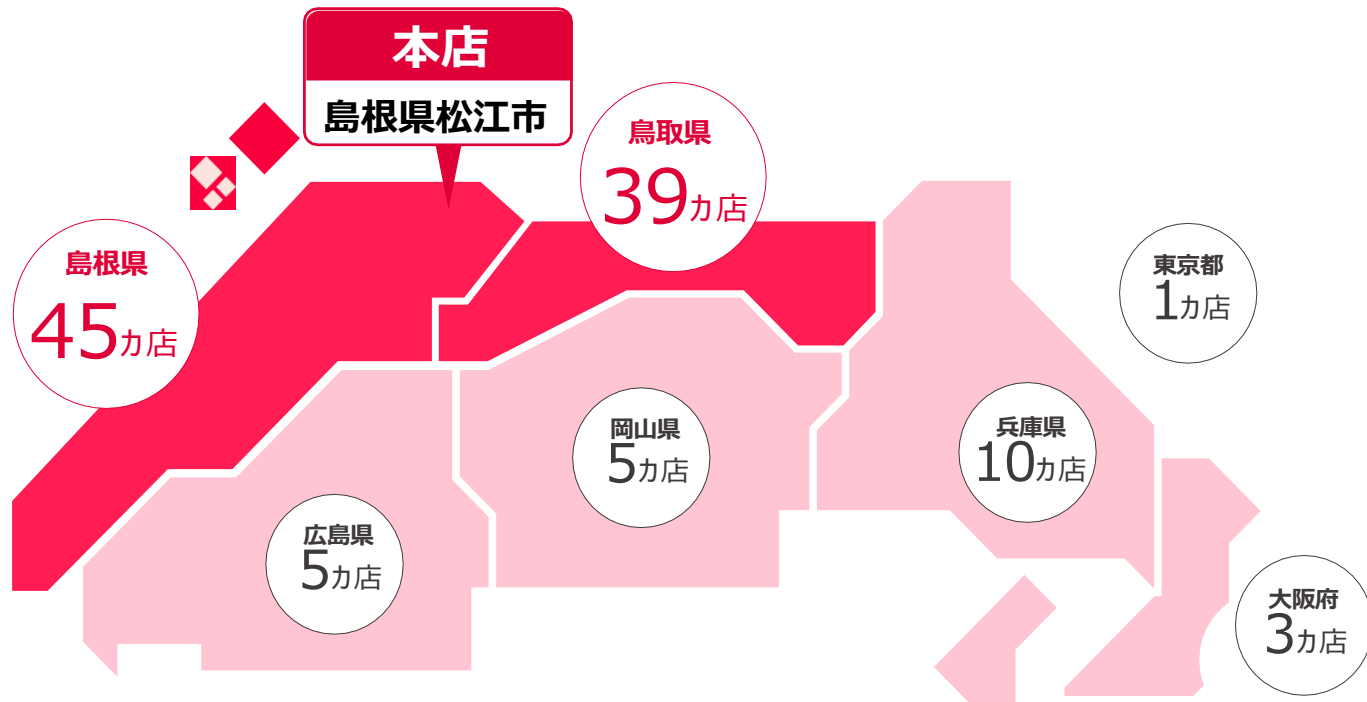


山陰合同銀行グループの 地域脱炭素に向けた取り組み

経営理念 地域の夢、お客様の夢をかなえる創造的なベストバンク

営業基盤

山陰、山陽、関西・東京にまたがる広域店舗ネットワーク



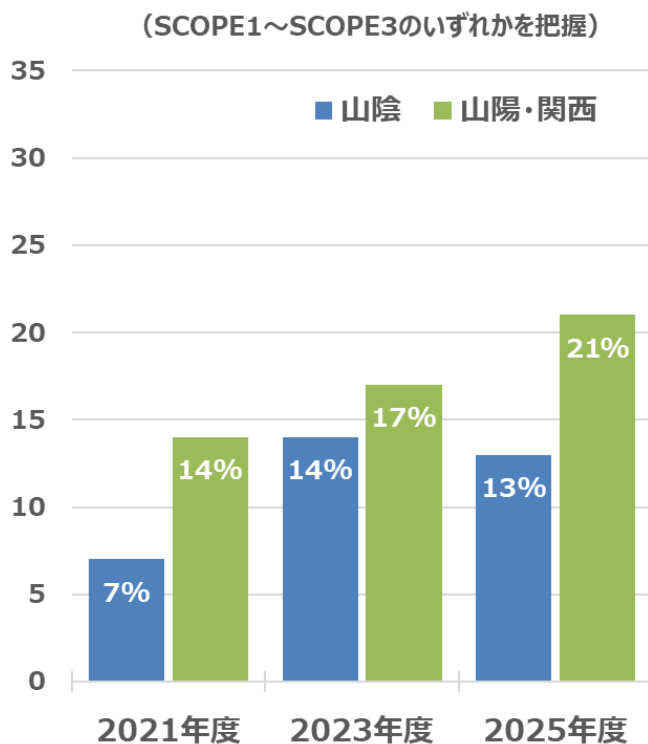
- 課題先進地域がマザーマーケット
- 地域の課題解決に貢献することが重要なミッション
- 「挑戦する」ことがスピリッツ
- 地域密着、信頼関係の構築が活動のベース

当行の概要 (単体) (2025年11月28日現在)

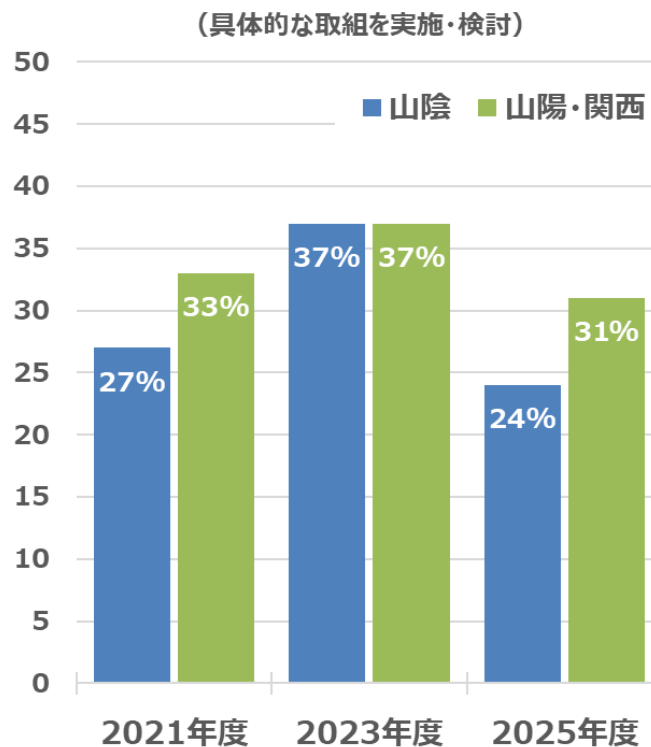
創業	1878年12月1日	
設立	1941年 7月1日	
本店	島根県松江市魚町10番地	
資本金	207億円	
従業員数	1,771名	
拠点数 (110拠点)	国内本支店	108
	海外事務所	2
主要勘定	総資産	8兆5,217億円
	預金等 (預金+NCD)	6兆6,647億円
	貸出金	5兆1,322億円
	有価証券	1兆9,830億円
自己資本比率	11.12%	

- 当行取引先へ脱炭素に関するアンケート調査を継続的に実施 ⇒ **山陰地域は取組みが遅れている**
- 直近期においては、脱炭素の取組意識が不十分 ⇒ **あらためてマインドをどう引上げるかが課題**

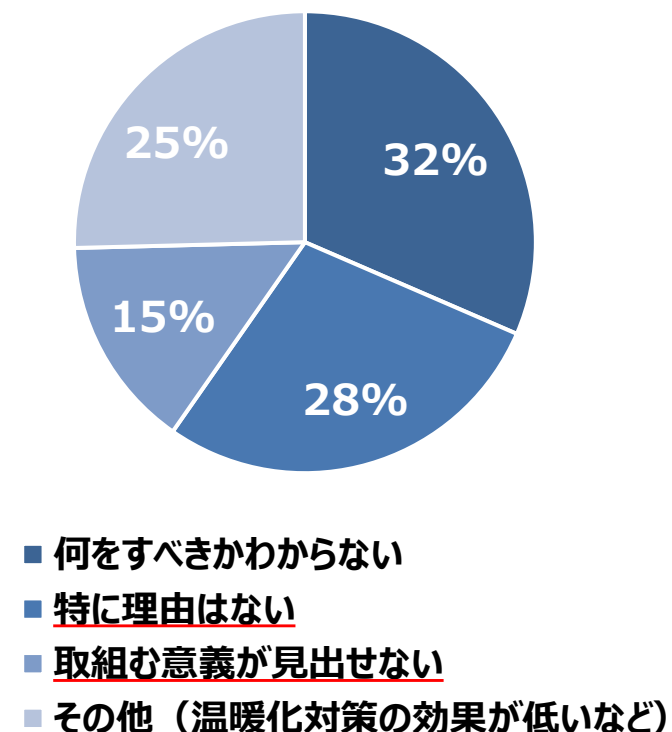
GHG排出量の把握状況



GHG排出削減の取組実施状況



山陰の企業が脱炭素に取組まない理由



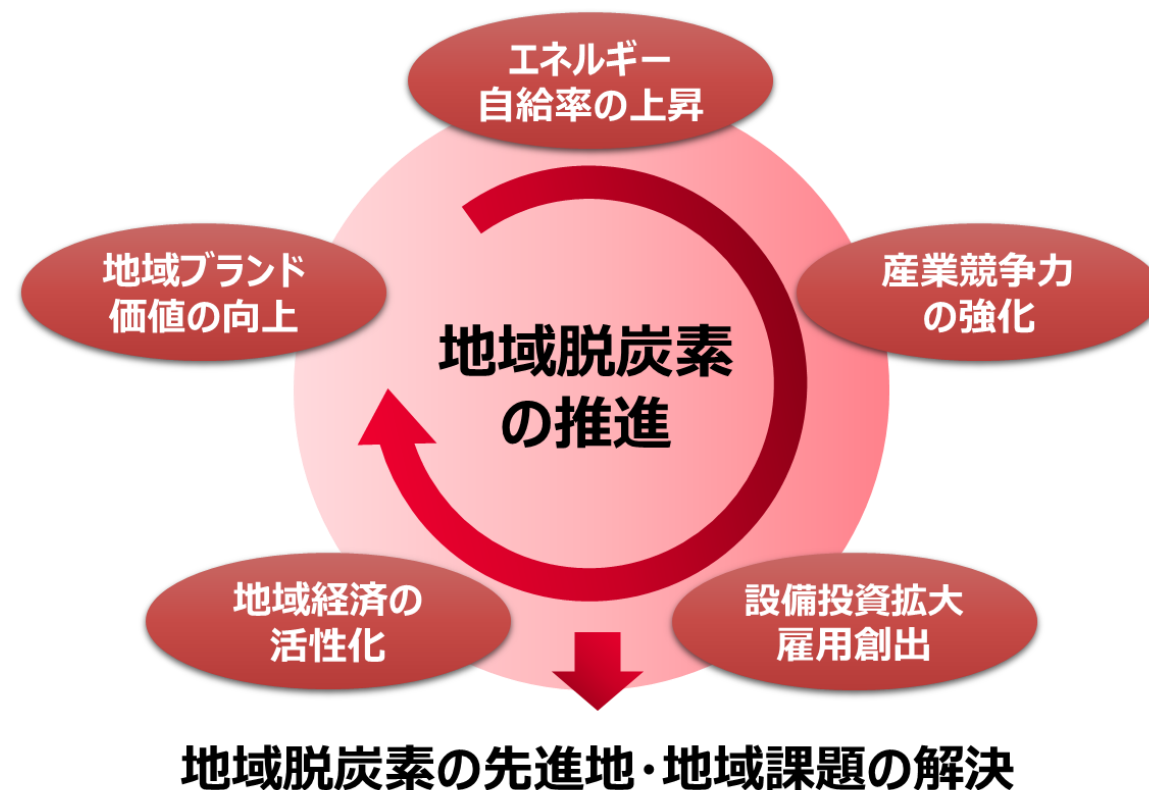
- 当行が率先して地域脱炭素に取り組み、**山陰地域を脱炭素先進地に**
- 地域脱炭素の推進を軸に、域内経済循環の拡大と、地域課題の解決に繋げていく

ごうぎんに求められていること

- ① リスクテイクによる地域の牽引
- ② 脱炭素をフックとした地域ブランド力向上
- ③ 持続可能な地域社会の実現

ごうぎんの脱炭素に向けた主な取り組み

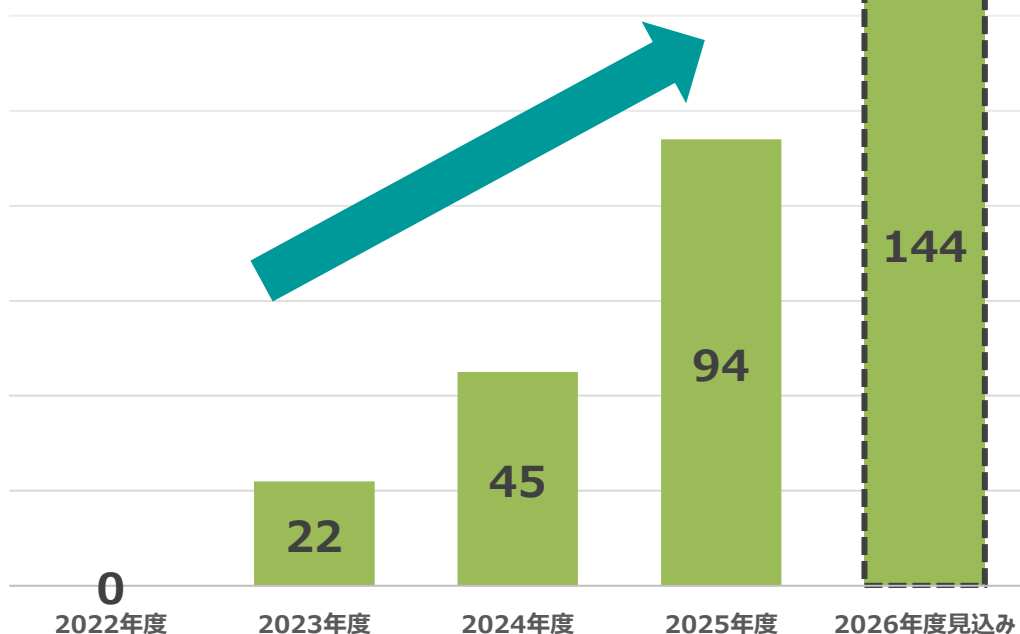
- ① ごうぎんエナジー（発電子会社）設立
- ② 脱炭素先行地域づくり事業への参画
- ③ J-クレジット・非化石証書の活用
- ④ CO2排出量の見える化サービスの提供



- 2022年7月、国内金融機関初 電力事業子会社を設立（金融庁認可事業）
- 地域脱炭素・カーボンニュートラルの実現による「魅力ある地域づくり」と「持続可能な地域社会」の形成を目指す

PPA 累計実績件数推移

- ・ 94発電設備
- ・ 発電容量 26.7MW
- ・ 年間想定発電量 2.7万MWh（一般家庭6,700戸分）
- ・ 年間CO2排出削減貢献量 1.3万t-CO2



事例① 鳥取スタイルPPAによる再エネ導入（公共）



設置場所	天神川流域下水道天神浄化センター
太陽光パネル出力	637kW
CO2削減見込量	380t-CO2/年

事例② 学校の体育館に太陽光発電設置（民間）

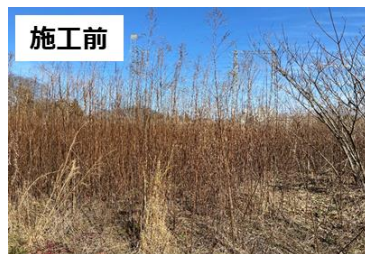


設置場所	米子北高等学校
太陽光パネル出力	162kW
CO2削減見込量	66t-CO2/年

▶ 山陰地域で選定された4つの事業に参画（内3つでは共同提案者）、参画件数は全国トップクラス

共同提案者	主な取り組み
島根県松江市 中国電力 JR西日本 他	▶ 観光地の再エネ導入 ▶ 温泉地での省エネ推進
鳥取県米子市 鳥取県境港市 ローカルエナジー	▶ 荒廃農地PPA事業 ▶ 水道局蓄電池付PPA事業
鳥取県鳥取市 とっとり市民電力 鳥取環境大学	▶ 戸建住宅PPA事業 ▶ 太陽光・水力・バイオマス発電

米子市・境港市 <荒廃農地PPA事業>



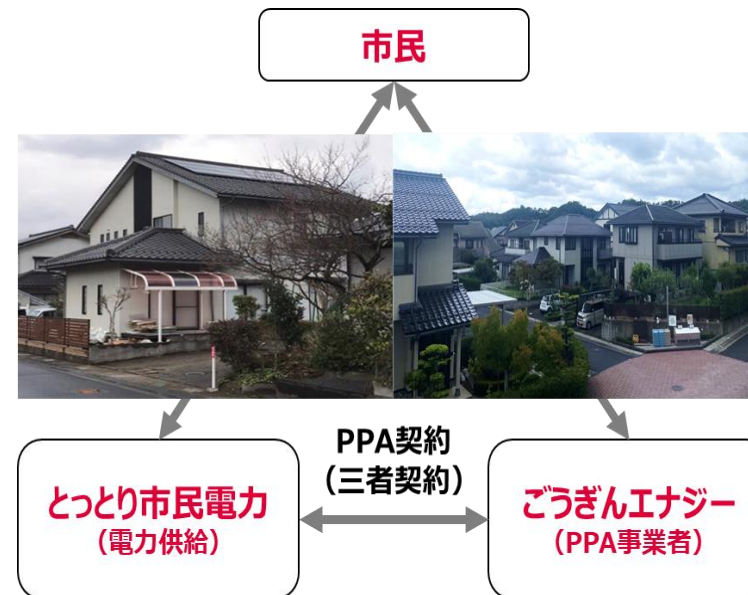
太陽光発電設置

ごうぎんエナジー
(PPA事業者)

PPA契約/電力供給



鳥取市 <戸建住宅PPA事業>

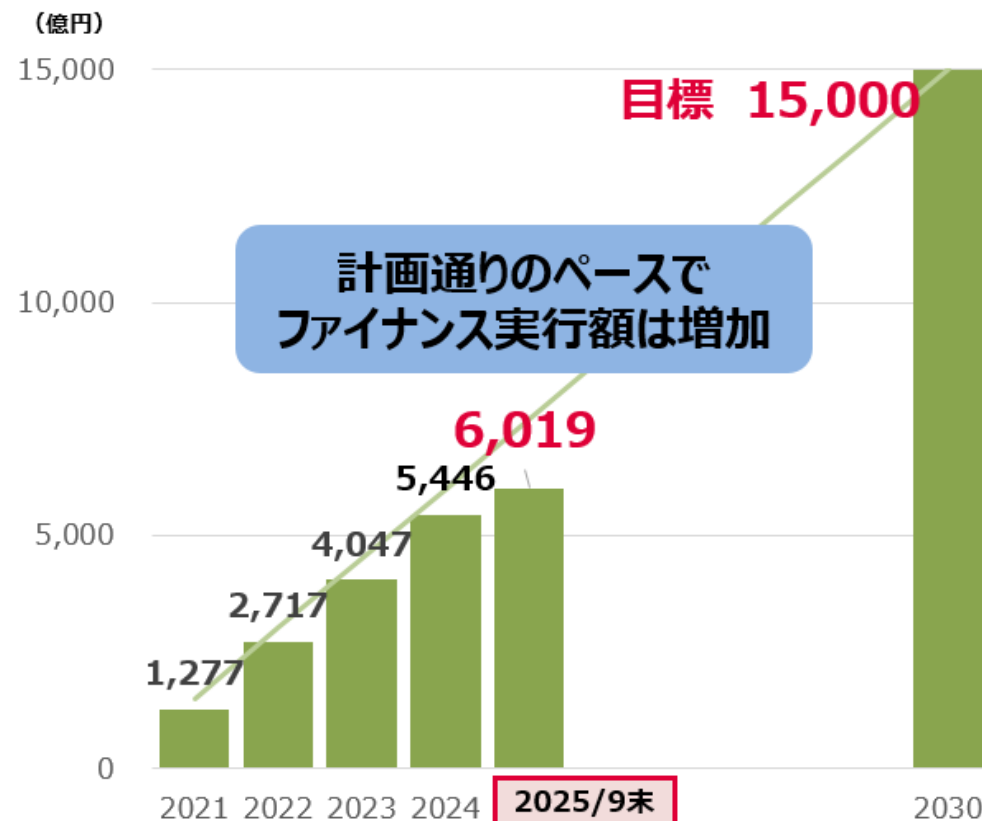


13件の個人住宅とPPA事業契約



▶ サステナブルファイナンス目標を設定 当行独自のオフセット可能な融資商品などを取扱

当行のサステナブルファイナンス目標	
2030年度	1.5兆円（うち環境分野 5,000億円）



ごうぎんグリーンローン

- 環境面に配慮した事業用途に資金用途を限定した融資

累計発行件数・金額	10件・34億円
-----------	----------

ごうぎんSDGs私募債（脱炭素型）

- 私募債発行企業に対して、当行が発行金額の0.2%相当のJ-クレジットを寄贈

累計発行件数・金額	28件・23億円
寄贈したJ-クレジット	397t-CO ₂
CO ₂ 削減貢献量	397t-CO ₂

カーボンオフセットサポートローン

- 当行が費用負担をし、債務者へ対して、非化石証書を寄贈

累計実行件数・金額	53件・45億円
提供した非化石証書	1,300万 kWh
CO ₂ 削減貢献量	5,501 t-CO ₂

- ▶ 自治体や電力会社等と連携し、お取引先向けの**脱炭素経営セミナー**を開催
- ▶ 2024年11月、地元IT事業者と連携し、**CO₂排出量可視化ツール**を**無償**で提供

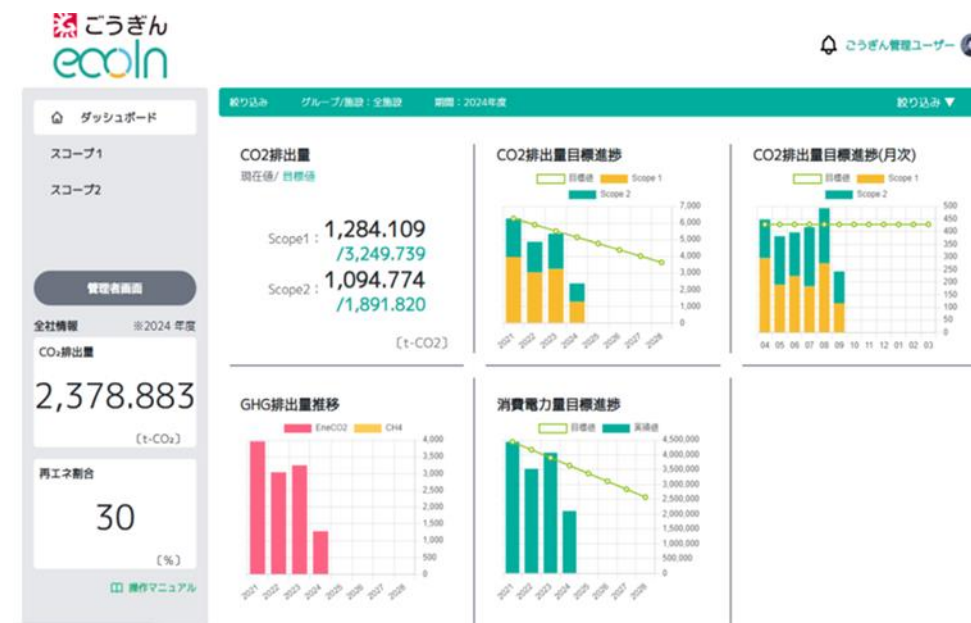
脱炭素セミナー2025in山陰（松江市・中国電力共催）

- ・ 松江市・中国電力との共催で4年連続で開催



CO₂可視化ツール「ごうぎんecoln」

- ・ 中小企業の皆さんは自社がどれだけCO₂を排出しているか知らない
- ・ 「知る→測る→減らす」の脱炭素ステップを、当行独自支援メニューとして提供



GEA国際会議2024

- ・ 脱炭素社会の実現に向け、国内外の第一線の有識者へプレゼンテーション実施

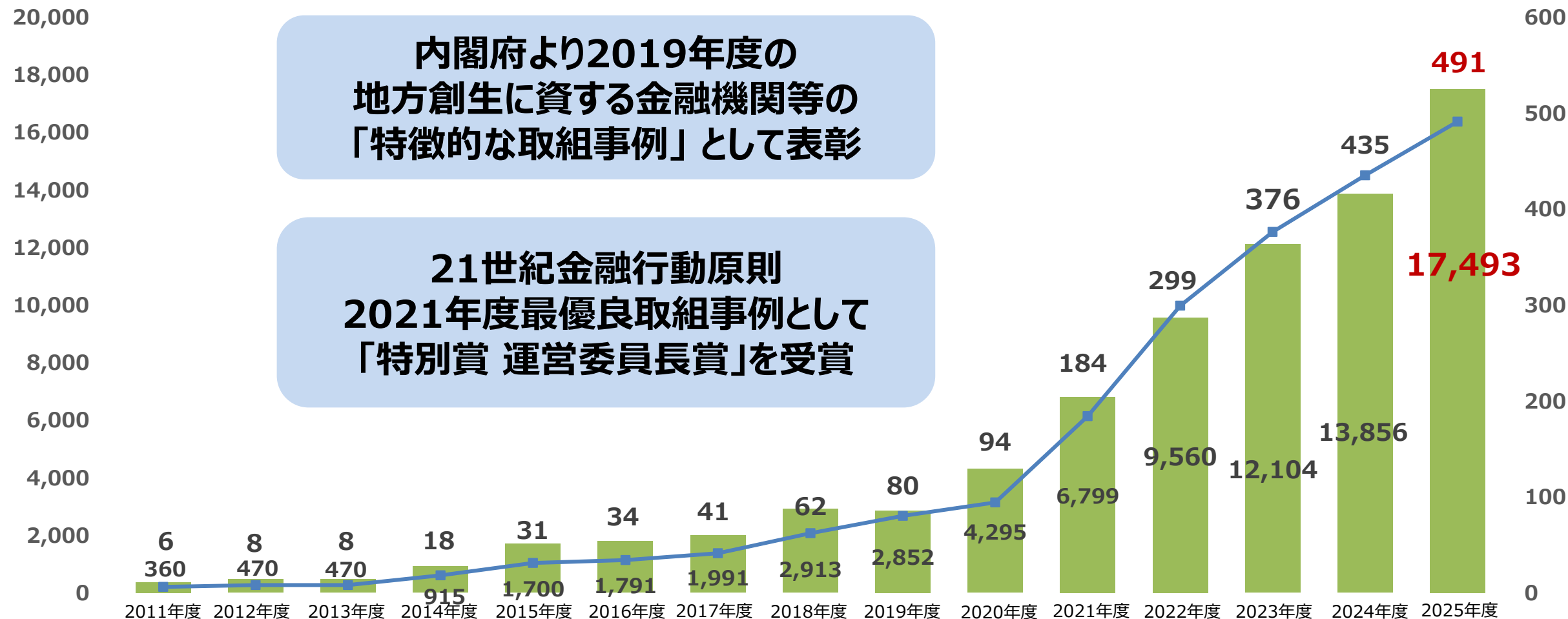


➤ 2011年度より、**J-クレジットの販売仲介**支援を開始 長く金融機関でトップクラスの実績

➤ 累計販売仲介実績：491件・17,493tのCO₂削減（2026年3月末時点）

(単位：t-CO₂)

(単位：件)



内閣府より2019年度の
地方創生に資する金融機関等の
「特徴的な取組事例」として表彰

21世紀金融行動原則
2021年度最優良取組事例として
「特別賞 運営委員長賞」を受賞

- 2023年度より、仲介に止まらず **J-クレジット創出支援**を開始、創出から販売まで一気通貫の体制構築
- 2025年4月、当行が地域の環境価値を集約し、**J-クレジットを創出・販売**する取り組みを開始

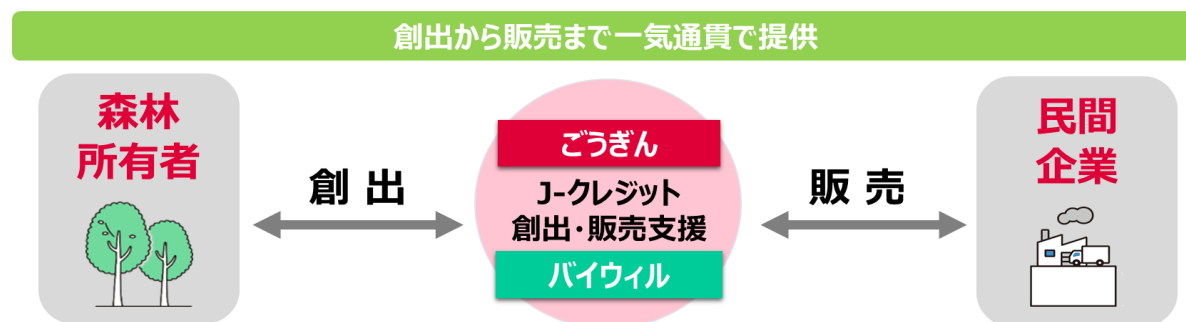
森林由来 J-クレジット創出支援

契約先数	森林面積	J-クレジット創出量 (年間)
6先	約2,820ha (JR山手線沿線内の約半分)	約1.3万t-CO ₂ (経済価値 1.3億円) ※販売単価1万円/t-CO ₂ の場合

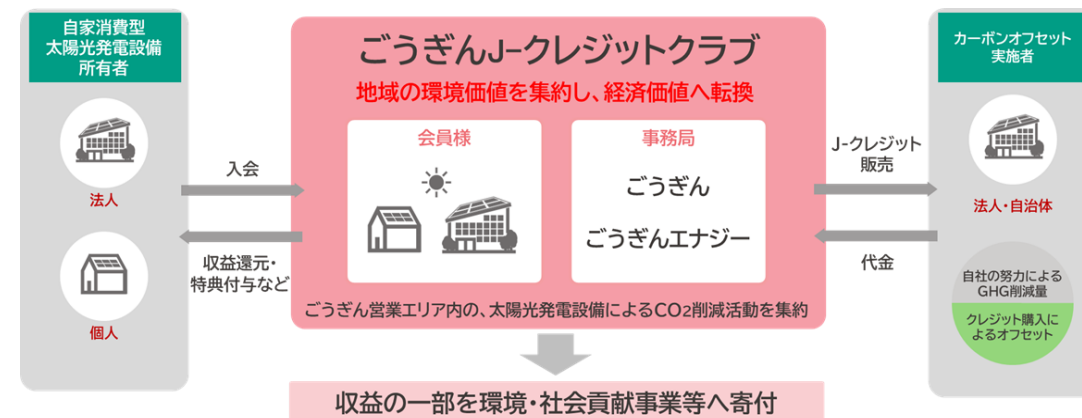
ごうぎんJ-クレジットクラブ

契約先数	発電量	J-クレジット創出量 (年間)
13先	2,656kw	約650t-CO ₂ (経済価値 325万円) ※販売単価5千円/t-CO ₂ の場合

<スキーム図>



<スキーム図>



森林保全活動「ごうぎん希望の森」

- 2006年度から年2回、役職員とその家族による森林保全「ごうぎん希望の森」を実施中
- 鳥取県の「鳥取砂丘」「三朝」「大山」、島根県の「八雲」「三瓶」「旭」の計6会場で活動

参加人数累計

12,386名

植樹本数累計

22,190本 (2026/3月末)

